



2000年

8月1日

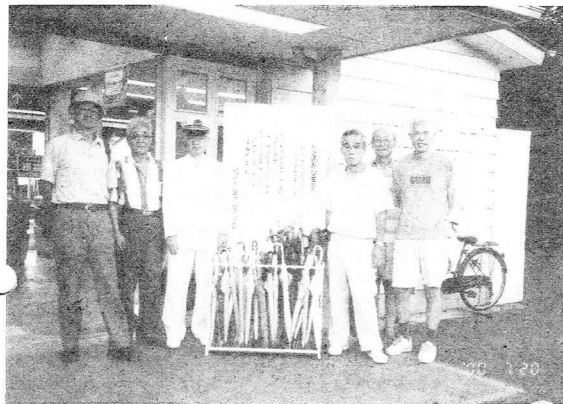
第7号

発行 相原まちづくり協議会
広報委員会

責任者 木下 眞

所在地 町田市相原町1241番地

電話 042(774)8705



相原駅で貸傘を始めました 愛称は「かえる傘」です

相原まちづくり協議会は相原駅での無料貸傘を行うことになり、その傘を前号で募集をしたところ、大勢の方々よりご寄贈戴きました。予定の100本を大幅に上回り、ご協力下さいました皆様には厚くお礼申し上げます。さっそく、7月20日、相原駅に設置することが出来ました。これは若林・相原駅駅長さんがこの活動に快くご理解を示され、実現したものです。

傘の愛称は「かえる傘」と決まりました。傘にはシートが貼ってあります。マークは雨とも関わりのある「かえる」がデザインしてあります。ご利用後、元の場所に「かえる」ことの願いが込められています。大切に利用して、借りた方は必ず返して下さい。

引き続き傘募集中

引き続き募集を継続していますので、ご家庭で余っている傘がありましたら、寄贈して下さい。毎週月木に相原まちづくり相談所（電話774-8705、いなげや駐車場横）で受け付けています。

第2次募集は9月30日までです。

シールはナカジマ宣伝社、傘立ては横溝廣喜氏に提供してもらいました。

今後の維持管理は相原まちづくりの協議会の中のJao会が運営していきます。

なお、傘を寄贈して下さいました方々のお名前は4面に掲載してあります。

住んでいて良かった！と 実感できるまちに！

相原まちづくり協議会は住み良いまちづくりを実現するために、これまで、いろいろな提案と活動を具体化してきました。昨年はJAO会の設立により「竹炭焼き」と「相原を学ぶ院」が発足しました。さらに、子どもセンターの相原への誘致や相原中央公園の建設促進に携わってきました。もちろん、これらの取り組みは今年も続けますが、新しく「いつでも傘を」を相原駅で7月より実施したほか、相原連合町会との協力で花いっぱい運動も検討しています。これは相原まちづくり協議会総会で、「町田街道に入ったら、花で埋められた街にしたい」など齊藤相原連合町会会長から提案があったものです。それぞれのお宅の、外から見えるところに花を飾ってもらい、相原町全体に花いっぱい運動を展開したらどうかというものです。

この他、相原町にはまだ無い大人も泳げるオープンなプールの実現です。堺中学校の体育施設の建て替えの話が出ていますが、これを機会に地域住民が活用できる水泳施設の実現を働きかけたらどうか、と検討しています。

相原中央公園建設促進委員会からのお知らせ

相原中央公園建設促進委員会
会長 青木照夫

相原中央スポーツ広場促進委員会として昭和61年に発足した本会は、地権者と町田市行政関係者とのご理解と御協力によりスポーツ広場の拡幅と充実に努めて参りました。

その後町田市当局より約17.5畝のスポーツ広場を備えた公園化構想が示されました。すでに56%の買収が終わり、「できる所から取りかかっていたらどうか」という合議のもと、名称を相原中央公園建設促進委員会と変更して再スタートしました。この委員会が町田市と連携を取り公園化を推進して参ります。ご意見等ありましたらお寄せ下さい。

委員名簿は3面に掲載

相原まちづくり協議会 総会で活動方針決定

相原まちづくり協議会は、5月28日に丸山公会堂で平成11年度定期総会を開きました。総会には理事のほか、各町会・自治会からそれぞれ2名の代議員が出席しました。

平成11年度の活動報告、平成11年度の収支決算報告、平成12年度活動方針、平成12年度収支予算を協議して、原案通り決定しました。

来賓として相原連合町会、(財)相原保善会、地元の市会議員に出席してもらい、挨拶がありました。

相原駅舎建て替え工事は来年1月からか

相原まちづくり協議会で現在、取り組んでいる具体的な活動内容は以下の通りです。

<相原駅建て替え>

相原駅の建て替え工事は今年度中の着工が決まりましたが、13年1月ごろになりそうです。平成15年3月に完成の予定です。

相原まちづくり協議会では、相原らしさを追求して、外観の仕上げ材について木質系の素材を要望。計画案ではホームへのエスカレーターの昇降について、昇りだけになっていますが、八王子方向へ降りるエスカレーターも要望しています。駅周辺の道路整備は早期に実現するよう、市に働きかけています。

また、2008年は、横浜線開通(明治41年9月23日)・相原駅ができて、100年目に当たります。

今後、町田市やJRとも話し合い、一大イベントを繰り広げる予定です。その手始めに「横浜線物語」の筆者のサトウ・マコト氏を招き、秋に講演会を計画しています。

さらに、駅前の花壇に、昔の駅と列車の模型が展示されていますが、当面は堺市民センターに移し、駅完成後には、自由通路に陳列して、多くの人に見てもらおう働きかけていきます。

<区画整理>

住みやすい「まち」にするために、区画整理をどう考えたらよいか、話し合いを進めます。区画整理について前回の説明から時間が経過していますので、再度説明の機会を得られるよう要望していきます。

また、「道の駅」の誘致など商業の発展が期待できる総合的見地に立って検討します。まちづくり協議会としてのプランを作り市に提案することも考えていきます。

「相原中央公園」推進に新しい委員会発足

<相原中央公園建設>

相原中央公園の建設は、もともと相原中央スポーツ公園ということで、始まりました。場所は中相原地区が中心です。昭和62年秋に建設説明会が開かれ、これまで13年間、同建設促進委員会・運営委員会の皆さんが鋭意努力を重ねてきました。

その後、公園面積の計画は11%になり、東京都の「みどり推進計画」の一貫で公園の要素が強く打ち出されました。このため、「箱物」と呼ばれる建設物の建築は難しくなり、管理棟程度のものしか建設できないことが、明らかになりました。屋外のスポーツ施設は「箱物」ではないので、建設が可能です。現在の公園面積の計画は15.7%になっています。

市と話し合い、町民の意見を、より反映させるため、住民の新たな組織「相原町中央公園建設促進委員会」に衣替えをしました。新組織には、相原まちづくり協議会から3名参加しています。相原町としての要望をまとめ、みのある成果が得られるよう活動を推進していきます。

子どもセンター3号館を相原に!

<子どもセンターの誘致>

市では旧5か町村を対象に子どもセンターの建設を考えており、すでに南地区では金森に第1号の「ばあん」が建設されました。2号館は鶴川に決定しました。相原まちづくり協議会では「3号館をぜひ、相原に」と強く要望しています。受け皿作りのために、会合を開き、着々と準備を整えています。青少年健全育成(町田市青少年健全育成相原地区委員会)などの団体とともに、早期に建設できるよう、活動をしていきます。

竹炭の生産は500袋になりました

<相原Jao(ジャオ)会>

高齢化社会を迎えて、定年退職された方が増えています。これまで培ってきた特技や技術などを生かして、地域の人たちと交流する場として、Jao会が発足しました。地域に貢献しながら自ら楽しんでいただき、会則・会費なしの気楽な会です。会名の「ジャオ」は「おやし」を逆に読んだものです。

Jao会は毎月第3木曜日午後1時30分から、相原まちづくり相談所(いなげや駐車場隣)で定例会を開いています。初めての方でも、お気軽に参加して下さい。現在、Jao会は下記の2つの活動を行っています。

◎「竹炭焼きの会」

昨年の秋から町田市シルバーセンターの若杉幸生さんの指導で取り組みました。大戸の吉沢政孝さんから竹を提供してもらい、2月に第1回目の火入れを、3月に2回目の火入れを行いました。

そこで生産された竹炭は「源流炭」との名称をつけ、袋詰め（1袋5〜6本）にしました。約500袋になります。「大池沢祭り」や「夢広場」で販売することにしています。

炭焼きの時期は過ぎましたが、今年度はこれまでの経験を生かして、十分に材料を用意して、さらに拡充することを計画しています。また、小学校の授業の一貫として取り組む予定で、学校とも話し合っています。できれば、ドラム缶の窯でなく、本窯を作り、定期的に炭焼きができればと考えています。「竹炭焼きの会」の責任者は本徳巨良氏（電話782-6968）です。

相原の歴史散策をしませんか

◎「相原を学ぶ隼（かい）」

相原の歴史、風俗、井戸の所在、自然観察、環境問題など幅広く学ぶ会です。「会」でなく、「隼」とつけたのは、隼より始めよという言葉があるように、出来ることから、まず始めよということ。昨年12月に発足しました。

長く住んでいても相原を知らない人が多いので、地域を知ろうということになりました。各地で保存されている出土物の調査、河川、わき水、井戸、民族芸能、歴史散歩などです。堺の歴史を語る会の中島清治さんから話を聞いたり、まちづくり協議会会長の木下真さんから明治大正の相原を聞きました。

11町内会ありますので、各地域を一つ一つ歩き、歴史散歩して、聞き書きなどをしています。すでに、駅前団地南側開発時の出土物、井上家民族資料館、窯跡、中ヶ谷戸橋、清水寺などを視察しました。

関心のある方は、ぜひ参加して下さい。「相原を学ぶ隼」の世話人は白川洋一氏（電話771-5505）です。

幅広い活動を展開しています

<理事会など全体の取り組み>

理事会は毎月9日午後7時30分から相原まちづくり相談所で開催しています。出席率も良く、年々活発になっています。駅建て替えや区画整理の問題はもちろんのこと、住み良い相原の追求、周辺の大学など各施設の訪問、講演会の実施、相原駅

100周年記念イベントの推進、他団体との交流、各部門の取り組みなどを推進しています。

<広報活動>

機関誌「あいとびあ」を昨年度は2回発行しました。相原のまちづくり運動について、住民に理解してもらい、参加してもらうため、今年度は4回発行する予定です。内容を充実させていきます。

相原中央公園
建設促進委員会名簿

委員長	青木 昭夫（歴）	委員	井上 善夫（運）
副委員長	北島 一夫（歴）		本徳 巨良（町会）
	落合 清新（町会）		矢島 稔春（町会）
	今村 忠司（まちづ）		杉崎 太吉（まちづ）
			伊藤 勉（まちづ）
委員	吉野 方治（歴）		斉藤 恭博（健）
	青木 寿一（歴）		佐々木清子（健）
	永山 盛昭（歴）		
	長柄 忠夫（歴）	顧問	吉川 重治（歴）
	町山 和夫（歴）	相談役	八木 邦治（議）
	小林 茂（歴）		井上 正行（議）
	志村 連夫（運）		伊藤 泰人（議）
	平野 功二（運）		斉藤 賢司（連町）
	星 正広（運）		木下 真（まちづ）
			青木 豊（保）

庶務 (吉野 方治)

(井上 善夫)

会計 (小林 茂)

(議) 一町田市 市議会議員

(歴) 一相原中央スポーツ広場運営委員会 歴代会長

(町会) 一相原町連合町内会 会長

(運) 一相原中央スポーツ広場運営委員

(まちづ) 一相原まちづくり協議会

(連町) 一相原町連合町内会 会長

(保) 一働 相原保善会 理事長

(健) 一町田市健全育成 相原地区委員会

「夢連」がNPO（非営利活動法人）に

相原では、昨年から「まち」の活性化、歴史的保存物の保護等を目的に、境川上流域を中心に取り組んでいる団体「夢連」（理事長 田中優子氏）が、この度、東京都の承認で非営利活動法人として認証されました。法政大学、桜美林大学などの協力で、今年も秋に「道まつり」の一環で、みどりをテーマにしたシンポジウム等を企画しています。

シリーズ

相原のあれこれ、今むかし

(相原を学ぶ院) 白川洋一

相原窯跡群 横浜線の相原トンネル付近の谷戸や山林の中で、土器のかけらが拾えることがあります。明治40年(1907年)、横浜鉄道開設のためのトンネル工事場から、多量の瓦や土器が出てきました。

これは、8世紀ころ(奈良時代から平安時代)、この辺で、相模国分寺(現在の海老名市にあった)・武蔵国分寺(現在の国分寺市)の屋根瓦や、各地へ移出する須恵器などをつくる窯がこの付近には沢山あったからです。現在でも、少し注意して探せば窯跡が発見できます。窯跡の位置は次第に西へ移動し、やがて、丘陵の北側(みなみ野ニュータウン)に移っていったようです。残念なことです。ニュータウンの造成でほとんどが壊されてしまいました。

相原トンネル付近は「東京都旧跡・相原窯跡」に指定されています。

相原の道路について
考えませんか

長い間困っているのに、なかなか解決しないのが、横浜線相原駅の近くの「相原大戸踏み切り」問題です。町田街道の拡幅は、小山町方面から徐々に進んできていますが、相原町では坂下から先は何も触られていません。東京都の計画、町田市のやる気、JR東日本の協力など、どれも欠けても実現できない問題です。

交通量が増え、渋滞のほうは待ってくれません。また街道両側の地権者は何か計画しても、実現の見通しがなく、あまりの時間の長さに関係問題もからんできます。

相原には、このように道路関係諸問題が累積しています。

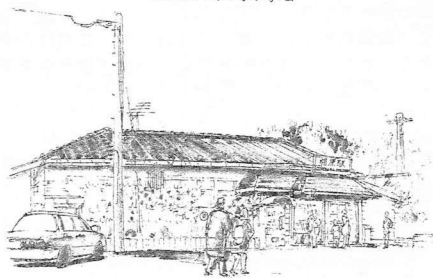
そこで皆さんの周りで発生している道路、河川に関することで困っていること、考えていることを、皆さんの地区から出ている、まちづくり協議会理事に話して下さい。まず、問題提起から始めます。それを協議会で話し合い、解決の方法を諸機関に折衝するなど、実現するよう、推進していきます。

横浜線

「相原駅100年を語る」講演会を
10月に開催へ

相原駅の建て替えなどから、駅に関心が強まっています。相原駅は2008年に100年を迎えるため、相原まちづくり協議会では、市と協力して講演会を予定しています。講師は「横浜線物語」の著者サトウ・マコト氏です。テーマは「相原駅100年を語る」。日時は10月15日(日)午後1時30分から、場所は堺市民センターです。ぜひ、ご来場下さい。

あなたの街の駅物語



相原駅駅舎
JR 駅日本ジパングクラブカレンダーより

傘のご寄贈ありがとうございました

ご寄贈者(敬称略)

相原経済人会議(代表石綿忠幸) 20本、北島政次 11本、法林利夫 30本、中島弥生 9本、小谷雅伸 7本、樺信成 26本、白川洋一 11本、伊藤和雄 4本、友原健二 5本、篠原康祐 7本

この他にもお名前の分からない方からもご寄贈戴きました。

編集後記

これまで「あいとびあ」を年2回程度発行してきましたが、活動が活発になってきたため、今年度は4回と倍増することになりました。

まちづくり協議会の報告だけでなく、皆さんが知りたい、地域の動きの情報提供など、広い紙面にしたいと、意気込んでいます。

しかし、編集人の力不足で、残念ながら、機能を十分果たしていませんが、さらに充実するよう、工夫していきます。みなさんからのご意見、ご提案などをお寄せ下さい。島、今、須、横